

理解教育（４～６年生）



手話サークル「四季の会」の方々に来校いただき、聴覚障がいについてお話をさせていただきました。

コミュニケーションをとる方法として、手話や筆談があることを教えていただき、実際に手話も教えていただきました。

特に、四季の会の方々が話された「聴覚障がいがあることは不便だけど、不幸ではない」という言葉が心に響きました。子ども達には、自分たちにできる手助けは何なのかを考えてみてほしいと感じました。